

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17 - デ研 - 3
-----------------	-------------

平成17年度配分 研究成果の概要

研究名	空間造形設計競技参画による院生デザイン教育の研究				
配分を受けた特別研究費	デザイン研究科長		特別研究費	3,100 千円	
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	寒竹伸一	
共同研究者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 年 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法: 立川市新庁舎設計選定競技 応募作品集への掲載		発表日 (発表 予定日)	平成18年 9月 1日	

注: 配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

大都市圏に存在する大学・大学院に所属する学生に比べて、実際の設計行為を含む空間・造形デザイン情報に接することが著しく少ない当大学大学院生に対するデザイン教育として、国際的空間造形設計競技(以下コンペと表記)や実施を目的とする国内コンペ応募による、実施設計に連続するアイデア・設計・プレゼンテーション行為の習得手法と、最新・高レベルの空間設計の情報取得手法の確立を目的とする。

(研究の実施方法等)

複数のコンペに当選経験のある意匠設計者、構造設計者、環境設計者、設備設計者、施工関連の専門家とチームを組んで、国際コンペ、及び実施を目的とする国内コンペに入選するのに必要な条件・手法の研究を行った。本年度は、国際コンペが開催されず、国内実施コンペ開催も著しく少なかったが、デザイン研究科修士1年生を中心にしたチーム編成により、立川市新庁舎設計者選定競技に参画した。

(得られた成果等)

実施レベルへと繋がるアイデア・設計行為、コンペ審査レベルに対応するプレゼンテーション能力、及び最新・高レベルの空間造形情報を院生が学び、習得するためのデザイン教育手法が確立でき、将来に対する院生の可能性を大きく広げることができた。また、デザイン系大学院研究室の活動を、学部生にもはっきりとわかりやすくアピールすることができた。このことにより、大学院生の国際及び日本の実施コンペへの高い挑戦意欲の持続性を確立することができた。